

● 「第28回Aカードトップ会」開催 >>[詳しくはこちら](#)

旅行新聞

THE RYOKO SHIMBUN

Aカードホテルシステム、会員数170万人超 「安定した客層が基盤に」

ホテル・旅館・メーカー・製品



① 2026年2月19日

編集部：長谷川 貴人

2026年2月19日（木）配信



Aカードホテルシステムの内藤信也社長

独立系ホテルのキャッシュバックポイントカード運営を手掛けるAカードホテルシステム（内藤信也社長、東京都千代田区）は2月17日（火）、東京都内でAカード加盟ホテルを対象に「第28回Aカードトップ会」を開いた。経営者や支配人など約220人が参加した。

同社が運営する「Aカード」は、全国の独立系ホテルを中心としたキャッシュバックポイントカードのサービスで、ポイント還元が現金で行われるのが特徴。約500店舗のホテルやレストランが加盟し、会員数は今年に170万人を超えた。

内藤社長は冒頭、2025年の国内ホテル市況を総括した。ホテル客室売上は前年水準を上回ったが、地域別で見ると上昇率に大きなばらつきがあると報告。要因としては、各地域におけるインバウンド比率の高低や、インバウンドに占める中国比率の高低による影響が大きいと分析した。それでも、日本政府観光局（JNTO）が発表した25年の訪日外客数が過去最多の約4270万人を記録したことに触れ、訪日客が宿泊業界の追い風となる可能性を示した。

一方で、物価上昇や人手不足、人件費上昇が前年から継続し、売上の伸びに加え、コスト面も上昇していると指摘。高単価のラグジュアリーホテルやアパートメントホテル、外資系ブランドの宿泊特化型ホテルなどのほか、コストを抑制・削減したコンテナホテルといった新業態が活発化していると説明した。